

令和3年度第1回

「第2期健康横浜21 計画評価及び次期計画策定検討部会」の開催状況について

1 趣旨

標記部会は、健康横浜21 推進会議における「第2期健康横浜21」の最終評価及び「第3期健康横浜21」の策定に係る審議に向け、第2期計画の評価案及び第3期計画素案を検討することを目的として設置しました。第1回の開催状況について報告します。

2 検討会の実施状況

(1) 検討会メンバー（敬称略）

	役職・委員種別	氏名	職名
1	委員	佐藤 信二	一般社団法人 横浜市歯科医師会 常務理事
2	委員	瀬戸 卓	一般社団法人 横浜市薬剤師会 副会長
3	委員	田口 敦子	慶應義塾大学 看護医療学部 教授
4	委員	長谷川 利希子	公益社団法人 神奈川県栄養士会 副会長
5	委員	渡邊 豊彦	一般社団法人 横浜市医師会 副会長
6	臨時委員	赤松 利恵	お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授
7	臨時委員	後藤 温	公立大学法人 横浜市立大学 学術院 医学群 教授
8	臨時委員	土屋 厚子	静岡県立社会健康医学大学院大学 研究アドバイザー 浜松医科大学 特任研究員
9	臨時委員	村山 洋史	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究副部長

(2) 開催日と議題内容

日程	令和3年7月20日
報告	1 令和2年度健康横浜に関する市民意識調査の結果について 2 よこはま健康アクション Stage 2の取り組み状況について
議事	1 第2期健康横浜21 最終評価に向けた目標値の収集状況について 2 第3期健康横浜21 骨子案の作成に向けた論点整理について
その他	第2期最終評価・第3期計画策定スケジュールについて

3 議事内容

(1) 議事1 第2期健康横浜21 最終評価に向けた目標値の収集状況について

事務局で収集した目標値を以下の通り報告し、意見交換及びご助言をいただきました。

ア 報告内容

分野	目標値に対する市民意識調査等の評価結果
基本目標 (健康寿命)	確認中 （目標値：平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加） 【参考】中間評価 男性：健康寿命の伸びが0.49年、下回った 女性：健康寿命の伸びが0.09年、上回った

生活習慣の改善	食生活	朝食を食べている小・中学生の割合に変化はなく、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合は目標から離れた。
	歯・口腔	12歳児の一人平均のむし歯数、60歳代でなんでも噛んで食べることのできる者の割合、3歳児でむし歯がない者の割合は目標を達成したが、過去1年間に歯科健診を受診した者の割合に変化はなかった。
	喫煙・飲酒	未成年者と同居する者の喫煙率（男性、全体）、成人の喫煙率（女性）、飲食店の受動喫煙については目標を達成し、成人の喫煙率（男性）、家庭・職場・行政機関・医療機関の受動喫煙、COPDの認知度、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合は目標に近づいた。しかし、未成年者と同居する者の喫煙率（女性）には変化がなかった。
	運動	運動やスポーツを週3日以上行う小学5年生の割合は目標を達成し、ロコモティブシンドロームの認知度、定期的に運動する20～64歳（全体、男性）は目標に近づいた。定期的に運動する20～64歳（女性）、同65歳以上（女性）に変化はなく、定期的に運動する65歳以上（全体、男性）は目標から離れた。
	休養・こころ	睡眠による休養を十分にとれていない者の割合は目標に近づいたが、睡眠が6時間未満の小学5年生の割合は目標から離れた。
生活習慣病の重症化予防（健診・検診）	肺がん（男性）、乳がん、子宮がんの検診の受診率は目標を達成し、胃がん、肺がん（女性）、大腸がん、特定健診の受診率は目標に近づいた。	

イ 委員意見

委員意見	まとめ
子どもの睡眠時間が短いことについて、現行の取り組みやその背景について情報収集や分析が必要。	具体的な取り組みや背景情報の把握については、教育委員会等にも確認しながら、親世代を含めたアプローチ等、今後に向けて必要な事業等の必要性を議論していく。
目標に対して何に取り組んでいるのか、分かりやすく示すとよい。	中間評価を踏まえて新たに強化している取組もあり、計画策定時の目標値と取組が完全に対になってはいないが、対象となるライフステージ、分野を意識して取り組んでいる。

(2) 議事2 第3期健康横浜21骨子案の作成に向けた論点整理について

以下4点を論点とし、ご議論いただきました。

- ・「第3期計画にとって重要となるキーワードが網羅されているか」
- ・「歯科口腔保健推進計画、食育推進計画との一体的策定となっているか」
- ・「論理的一貫性があり、市民に理解される構成になっているか」
- ・「優先して取り組む健康課題に対して、実現可能性が高く効果を見込める取り組みが提案できているか」

ア 骨子案たたき台要旨

基本理念	全ての市民に向けて、乳幼児期から高齢期まで継続して、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防の取組を行うとともに、健康を守り支える環境づくりを行うことで、健やかな生活を送ることのできる市民を増やします。
------	--

基本目標	健康寿命の延伸と健康格差の縮小 (健康格差の縮小に向けた取組、目標値、評価方法は要検討)
優先して 取り組む 健康課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスの良い食生活の推進 ・ 歯・口腔の健康づくり ・ 喫煙率低下と受動喫煙の防止／生活習慣病リスクを低減する飲酒量 ・ ウォーキングやスポーツ等の運動習慣の定着化と高齢期に入る前からの生涯にわたる介護予防・フレイル予防 ・ 心身の休養によるこころの健康づくり ・ 手洗い、咳エチケット等の生活習慣による感染予防 ・ 成人期の全般的な生活習慣の改善 ・ 特定健診・がん検診・歯科検診の定期的な受診 ・ 生活習慣病の重症化予防 ・ 糖尿病等の治療中断・放置の減少
取組を 推進する 視点	<ul style="list-style-type: none"> ① ライフステージの連続性 ② 健康無関心層等に重点を置いたポピュレーションアプローチ ③ 人と人とのつながりを通じた身近な地域の気軽な健康づくり ④ 便利で効率的な健康づくりのサポート (AI 活用、DX 活用、データ活用) ⑤ 時代に応じた新しい働き方やライフスタイルに合わせた健康づくり ⑥ 災害時や感染拡大時等の「もしも」の際にも「いつもどおり」に取り組める健康づくり

イ 委員意見

委員意見	まとめ
ここに書かれている健康課題は、どちらかといえば生活習慣の課題であって、主要な生活習慣病の状況が国や他県と比較してどうなっているのか整理が必要。それなしでは、次期計画の論点が網羅されているのか、横浜市の現状に合っているのかが分からない。	全国比較すると、突出して悪いものはなく、全体的に良い方ではあるととらえているが、市内の区間差は大きい。疾病の状況は次回報告できるように準備する。

5 委員交代予定

横浜市医師会の渡邊豊彦副会長が退任され、次回以降は同会の豊福深奈常任理事に交代する予定です。

6 次回予定

令和3年度第2回 令和3年12月21日 開催予定

歯科口腔保健推進検討部会の開催状況 及び オーラルフレイル予防推進の取組について

1 歯科口腔保健推進検討部会の開催状況

令和3年11月24日（水）、令和4年2月を予定

歯科口腔保健推進計画（仮）と第3期健康横浜21の一体的策定に向けた検討 等

2 オーラルフレイル予防推進の取組について

（1）これまでの取組状況

オーラルフレイル予防については、健康教育や歯周病予防教室などで、各区の歯科衛生士が高齢期の市民や地域人材への啓発に取り組んできました。平成31年2月の歯科口腔保健推進条例の制定を受け、令和元年度から市として本格的に取組を進めるため、オーラルフレイル予防推進事業を立ち上げると共に、横浜市歯科医師会をはじめ、様々な関係団体と連携しながら、高齢期の市民に関わる専門職（区高齢担当、地域包括支援センター等）が知識を深められるよう支援しています。

（2）今後の展開について

オーラルフレイル予防は、高齢期の市民の健康課題であり、引き続き口腔機能の維持や低下を予防する取組を進めるとともに、将来的なオーラルフレイル予防のため、成人期や乳幼児期・学齢期にも働きかけます。

今後は、以下について重点的に取り組んでいきます。

- (1) 世代別の共通啓発媒体の作成
- (2) 介護予防事業とのさらなる連携（既存事業の場を活用した展開）
- (3) オーラルフレイル予防推進の担い手の拡大にかかる検討
- (4) 成人期を中心とした歯周病予防啓発
- (5) ポピュレーションアプローチに重点を置いた取組

区毎で取組状況が異なるものを平準化（全体の底上げ）するために、全市共通で活用可能な啓発媒体を作成します。

その啓発媒体を基に、介護予防事業などの既存事業と連携してより効果的、効率的に展開するほか、啓発・研修の場・回数の拡大に伴い、オーラルフレイル予防推進の担い手の拡大についても検討を進めます。

また、オーラルフレイルは高齢期の健康課題ではあるものの、成人期などより若い世代から口腔機能の維持・向上の取組を進める必要があることから、成人期の健康課題である歯周病予防に重点を置いた取組を進めます。

第3期食育推進計画の策定に向けた食育推進検討部会の設置について

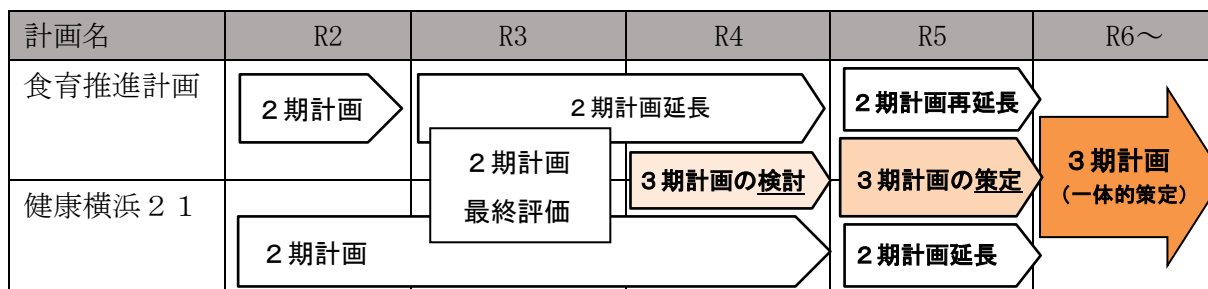
1 趣旨

食育の更なる推進と他の健康増進分野との連携強化を目指し、第3期食育推進計画については「第3期健康横浜21」と一体的に策定することとしています。

このたび、他の健康施策の検討と同様に、健康横浜21推進会議の部会として、「食育推進検討部会」を設置しましたのでご報告します。

2 一体化の進め方

令和6年度からの第3期健康横浜21と一体的に策定するため、現行の第2期食育推進計画は令和4年度末まで延長していましたが、第2期健康横浜21の1年延長に伴い、第2期食育推進計画についても再度延長します。



3 食育推進検討部会について

(1) 検討内容

第2期食育推進計画の最終評価、及び第3期食育推進計画の策定に向けた検討、その他、食育の推進に必要な事項

(2) 開催時期（予定）

第1回：令和3年11月、第2回：令和4年2月頃

4 部会委員について

部会委員は、横浜市医師会、横浜市歯科医師会、横浜市場活性化協議会、横浜市食品衛生協会、NPO法人横浜ガストロノミ協議会等の団体で構成された「横浜市食育フォーラム」の委員から、計15人を選出しました。

なお、食育フォーラムの皆様にご参加いただいていたメーリングリストを引き続き活用し、食育関連の情報について情報共有・情報交換しています。

5 今後のスケジュール

令和3年11月、令和4年2月：部会での検討（第2期食育推進計画の評価等）

令和4年3月：検討状況について健康横浜21推進会議に報告

食育推進検討部会 委員一覧

(五十音順・敬称略)

氏名	所 属
1 芦澤 豊	横浜市場活性化協議会 副会長
2 飯笹 光男	NPO法人 横浜ガストロノミ協議会 理事長
3 井上 恒次	一般社団法人 横浜市食品衛生協会 副会長
4 岩本 かをり	公益社団法人 神奈川県栄養士会
5 植木 美子	一般社団法人 ラシク045(よこはま一万人子育てフォーラム)
6 大久保 辰雄	一般社団法人 横浜市医師会 常任理事
7 金子 勝巳	公益財団法人 よこはま学校食育財団 理事長
8 金子 佳代子	横浜国立大学 名誉教授
9 君塚 義郎	株式会社 崎陽軒 取締役 製造統括部長 兼 本店・レストラン事業部長
10 菅 千明	はまふうどコンシェルジュ
11 長島 由佳	ユカナガシマ・クッキングサロン
12 望月 選	一般社団法人 F・マリノススポーツクラブ 理事
13 望月 悟	一般社団法人 横浜市歯科医師会 常任理事
14 谷中 正弘	横浜農業協同組合 組織部 地域ふれあい課 課長
15 守分 光代	横浜市食生活等改善推進員協議会 会長